

■長岡市文化財保存活用地域計画（案）パブリックコメント実施結果について

○長岡市文化財保存活用地域計画（案）について、令和8年1月9日から令和8年1月29日までの期間でパブリックコメントを実施しました。

【実施の周知】

- ・市ホームページ及び市政だより（1月郷）への掲載
- ・アオーレ長岡東棟1階総合窓口及び各支所地域振興・市民生活課、科学博物館への備付け

【意見提出者】 1人

【意見件数】 50件

No.	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号・修正箇所)
1	P29 「郊外地の開発により水田の宅地化が進むとともに、…水田・里山の保全管理が課題となってきています。『一方で、人口減少局面を迎え、市では新たな住宅地の供給、市街地の拡大を行わないこととしています。』」と、保全にとり前向きな転換があったことの追記が必要ではないか。これは数百年単位の拡大からの転換であり、土地利用の文脈では非常に重要と考える。	29	<p>いただいたご意見と長岡市都市計画マスタープランに基づき文章を再構成しました。</p> <p>29ページ2段落目以降</p> <p>「本市では、これまで計画的な市街化を進め、良好な居住環境を有する住宅地の形成に取り組んできました。</p> <p>しかし、現在は人口減少局面を迎えており、住宅地の供給量も十分にあることから、住居系市街地の拡大は行わず、低未利用地や空き家を有効に活用することとしています。</p> <p>また、中山間地域では、過疎化・高齢化等の進行に伴う農村集落機能の低下により、身近な自然環境である水田・里山の保全管理が課題となっています。その一方で、…新潟県中越地域（長岡市・小千谷市）の「雪の恵みを活かした稲作・養鯉システム」が「日本農業遺産」に認定されるなど、本市の中山間地域の価値が高まりつつあります。」</p>	29ページ 2-4 2段落目以降
2	P30 「関越・北陸自動車道が整備されており、首都圏や北陸・東北『・東海』方面と本市とを結んでいます」と、中部・東海方面も加えてほしい。 「信越本線・上越線・飯山線・越後線の計4路線があります。『また、弥彦線と只見線も近傍しています。』」と、弥彦・只見との広域的な連携の視点を加えてもよいのではないか。 県が力を入れる高速バスの段落も追加する必要があるのではないか。「高速バスは、県内路線として、○○、○○、○○線が、県外路線として、○○、○○線が運行されています。」	30	該当部分はいくまで、長岡市の概要の紹介が目的であるため、計画（案）では現状のままいたします。	-
3	P34 「火焰土器」発祥の地」とあるが、「発祥」の語が適切かどうかは検討の余地があるのではないか。直感的には初の火焰土器が『作られた』イメージを持つが、ここでは初『発見』の意味と思われるので、「発見」がよいのではないか。	34	馬高遺跡で火焰土器が初めて発見された遺跡として、長岡市では「火焰土器発祥の地」という表現をこれまで使用してきており、計画（案）では現状のままいたします。	-

No.	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号・修正箇所)
4	<p>P.65</p> <p>①「火焰土器」などの原始のキーワードも含めるべきではないか。特に火焰土器は「縄文土器を代表するもの」であり、重要と考える。</p> <p>②「舟運」も必要ではないか。「川港」だけだと拠点性の文脈に寄ってしまい、モノが移動する線や、輸送手段としての視点があいまいになる恐れがあるため。</p> <p>③「川、信濃川、魚野川」としてはどうか。長岡に住んでいて、また他の都市にも住んでみて、長岡において身近な中小河川（支流）の視点は欠かせないと感じている。福島江用水の重要性は、農業や生活にとってのそれまでの中小河川の重要性を裏付ける。また小さな橋も文化的価値を持つ。登録文化財である高橋酒造などは川と橋に面しており、立地が大きく開けていることで地域のシンボル性を高めている側面がある。</p> <p>④「鉄工業」「近代化」もあってよいのではないか。近代化は水道公園関連文化財の文脈。</p> <p>⑤「復興」に加え「慰霊」もあってよいのではないか。</p>	65	<p>①について 「長岡市の歴史文化の特性」におけるキーワードは本市をとりまく環境（自然的・地理的環境、社会的状況、歴史的背景）や文化財の特徴を踏まえた上で設定しております。このことから、計画（案）では現状のままといたします。</p> <p>②について 「舟運」は特性「3. 交通の結節点・長岡」の内容に該当するため、計画（案）では現状のままといたします。</p> <p>③について 特性2のタイトルにある「信濃川水系」に支流の存在も含まれているため、計画（案）では現状のままといたします。</p> <p>④について 「鉄工業」「近代化」はいずれも、特性5で設定した既存のキーワードの意味合いに含まれるため、計画（案）では現状のままといたします。</p> <p>⑤について 特性6は戦災・災害からの復興が主なテーマであり、長岡花火には慰霊の意味も込められているため、計画（案）では現状のままといたします。</p>	-
5	<p>P.67 「近年では鮭の稚魚放流を通じて環境意識を高める取組が進められ」とあるが、現在は生態学的なデメリットも指摘されるようになってきており、また「近年」の表現も曖昧なことから、「…衰退しましたが、〇〇年代以降は鮭の稚魚を放流する取組も行われ、観光資源としての…」とするべきである。少なくとも「環境意識」については迷信になりつつあるので、断言調で盛り込むべきではないと考える。</p>	67	<p>いただいたご意見を参考に以下のとおり修正しました。また、放流開始の年代は地区によって異なりますが現在も継続的に行われているため、「現在も」としました。</p> <p>67ページ【川辺の生活と鮭】11行目 「・・・衰退しましたが、現在も鮭の稚魚放流を通じて観光資源としての活用や郷土愛育成の役割を担っています。」</p>	67ページ 【川辺の生活と鮭】11行目
6	<p>P.74 文化財の「掘り起こし」や、いずれ文化財となるべき資産の保護も必要。（「掘り起こし」はp.72にもある文言。）</p> <p>そのため可能であれば、方向性2 [守る] に「掘り起こし」の語を追加してほしい。また、p.77の課題整理（下位項目）にも、「掘り起こし」の文脈を追加してほしい。</p> <p>また当計画とは必ずしも関係しないが、できれば、いずれ文化財となるべき建築物の建築、作品の制作など、生きた文化への還元にもつながるような政策の方向性を見据えてほしい。</p>	74	<p>72ページに記載する「掘り起こし」は、指定・未指定文化財の把握・詳細調査にあたり、方向性1（知る）に関わる内容と考えます。</p> <p>また、本計画ははまだ知られていない文化財や未指定文化財の把握・詳細調査（掘り起こし）を行い、その価値を認識し、総合的に保存・活用を目指すことを記述するものであるため、「掘り起こし」の言及は不要と考えます。</p> <p>以上のことから、計画（案）では現状のままといたします。また、後段のご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	-

No.	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号・修正箇所)
7	P.74 方向性3〈伝える〉に「文化財の調査成果等の公開『・展示』や」と、展示を追加してほしい。博物館などの展示が充実してほしいし、充実させるべきと考えるため。	74	方向性3〈伝える〉は、「情報の発信」に関するものとして設定しました。「展示」については、方向性4〈活かす〉で「文化財や文化財展示施設を活用した様々な取組を行います」に記載しました。このため、計画（案）では現状のままといたします。	-
8	P.74 方向性5〈育てる〉を「文化財保護活動『を支える』人材の育成」としてはどうか。実際に手伝い協力する人材だけでなく、支援・応援・支持する人材や意識の育成までも含めて実践する必要があるため。（p.75の課題にも文化財保護活動を後押しする意識が高くない旨を追加できるとよい。また、p.80にも15-2としてその旨を追加できるとよい。どんなに誇るべき建築も、褒めても「あんげんどうするがれ」と言われるなど、日常に接してきた市民にとっては当たり前で、保護意識が極めて低いことがある。）	74	文化財保護活動を「支える人材」は、計画（案）の「関わる人材」の中に含まれますので、計画（案）では現状のままといたします。	-
9	P.78 10-3〈情報発信の課題〉として「文化財展示施設等へのアクセスが限られている」を追加できるとよい。市役所の中心機能移転以降、バス減便が続くさいわいプラザや、郊外の奥まった地点に位置し足を延ばしづらい新潟県立歴史博物館、郊外にある複数の縄文遺跡、トキミ〜を念頭に。p.83の10-2〈情報発信の方針〉も「気軽に触れるための機会『やアクセス』を多様化」と追加できるとよい。	78	いただいたご意見につきましては、今後の計画の見直しの際に参考とさせていただきます。	-
10	P.79 11-2〈観光・地域振興の課題〉を「文化財展示施設『等』における…」または「…整備・アクセスが不十分」とし、移動手段も含めた多言語対応・障がい者対応が必要であるという視点を盛り込む必要がある。p.84の11-2も「文化財展示設備『・アクセス手段』を整える」などとする必要がある。 13-2については「環境整備」に交通アクセスも含まれると解釈できるため、これを評価する。	79	いただいたご意見につきましては、今後の計画の見直しの際に参考とさせていただきます。	-
11	P.80 文化財保護活動での連携は、高等教育機関に限らなくてよいのではないか。特に高校と連携してほしい。	80	高等学校との連携を含めたものとして項目16-2の記載を「高等教育機関等」に修正します。また、91ページ16-2の担当課に「高等学校」を加えます。	80・85・91ページ 16-2
12	上記に関連して、「2 文化財の保存・活用に関する方針」にも必要となる項目があれば、適切に盛り込んでいただきたい。 また、第7章にも適切に盛り込んでいただきたい。		NO.6～11のとおり、計画（案）では現状のままといたします。	-
13	P.104 高橋酒造と栖吉川の写真を掲載してほしい。水と醸造とのかかわりがよくわかる。	104	本文を追加する必要が生じたため、レイアウトの都合上、計画（案）では現状のままといたします。	-

No.	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号・修正箇所)
14	<p>p.113 取組主体と役割に、交通の側面を含まなければならない。鉄道、バス、タクシー等の交通事業者が乗客を運ばなければ、「文化財を利用した観光事業」は成り立たない。また市民の博物館や美術館等文化施設への来訪も難しくなる。さらに言えば、文化財の立地によっては市民参加の調査・研究も交通サービスがないと実施できない可能性がある（人手が必要だが近隣に駐車場がない、大勢の催しだが遠隔地で貸し切りバスやレンタカーが必要、など）。</p> <p>そのため、次のように修正が必要である。</p> <p>〈表9-1の取組主体と役割について〉 「 関係団体・企業 文化財を活用した観光事業の進行、誘客、情報発信 『、交通手段の提供』 」 別行を設けてもよい。 「 『 交通事業者 交通手段の提供 』 」 (またいずれであっても、可能であれば、『交通手段および利用案内の提供』としていただきたい。これは路線バスやタクシー、レンタカー、レンタサイクル等を念頭に、外部からの利用者にも分かるような情報提供や、多言語対応化がないと、そもそも交通手段を見つけられない、見つけても使い方が分からず使えない、ということが起こるためである。実際に駅で迷っているインバウンド客を複数見ており、またバスを聞かれたこともある。このバスではないと伝えると、理由を呑み込めないままとても残念そうな顔をなさっていた。)</p> <p>また、行政(長岡市)の表にも次のように追記が必要と考える。 「 都市整備部 都市政策課 都市政策(景観)に関すること『、交通事業者との調整』 」</p>	113	<p>いただいたご意見につきましては、今後の計画の見直しの際に参考とさせていただきます。</p>	-
15	<p>はじめに「誰もがまちの魅力発信者～ふるさとの歴史文化を守り、伝え、愛着と誇りをもてる長岡に～」の副題の前に、全角か半角のスペースが必要。総合計画のまちの将来像引用箇所に合わせ全角スペースか。</p>	はじめに	<p>いただいたご意見を参考に、副題の前にスペースを入れることとします。</p>	<p>はじめに、74・75ページ (第5章)</p>
16	<p>p.10 「5. DXの推進により…」の「DX」の前に半角スペースが必要ではないか。</p>	10	<p>ご意見のとおり修正しました。</p>	<p>10ページ 2) 長岡市総合計画 施策を推進する5つの視点</p>
17	<p>p.27 「5万人を超えた年は和元(2019)年の5地点を…」令和の「令」が抜けている。</p>	27	<p>ご意見のとおり修正しました。</p>	<p>27ページ 2-3観光</p>
18	<p>p.30 「地域生活交通…が運行しています」ではなく「地域生活交通が…運行されています」の方がよいのではないか。</p>	30	<p>ご意見のとおり修正しました。</p>	<p>30ページ 2-5交通機関</p>

No.	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号・修正箇所)
19	p.31 「故駒形十吉氏の収集した明治以降の国内作家作品（加山又造、平山郁夫など）を展示する。」 表内こだけカッコが半角になっている。	31	ご意見のとおり修正しました。	31ページ 表1-11
20	p.36 「富を蓄え勢力を拡大して行きました」の「行きました」はひらがなが良いのではないか。	36	ご意見のとおり修正しました。	36ページ 3) 平安時代
21	p.38 「戊辰戦争で疲弊した長岡では明治 20 年代後半ころから始まる石油事業により、長岡の町は活気に満ち、鉄工業（機械工業）が発展しました。」 長岡の語が二度出るが、整理したほうが良いのではないか。	38	以下のとおり修正しました。 「明治 20 年代後半ころから始まる石油事業により、戊辰戦争で疲弊した長岡の町は活気に満ち、鉄工業（機械工業）が発展しました。」	38ページ 3-4近現代
22	p.38 空襲犠牲者が「1489名」と断定調になっているが、市民名簿が焼失し正確な数は分からなかったと記憶している。もし仮にそれを踏まえた表現でなければ、修正を検討されたい。（p.71では「現在判明しているもので1,489人」となっているので、こちらのトーンに合わせるのが良いのではないか。）	38	以下のとおり修正しました。 「…長岡市街は空襲により市街地の 8 割を焼失し、犠牲者数は現在判明分で1,489人に上ります。」	38ページ 3-4近現代
23	p.41 「これら先人の努力、業績にふれることは、長岡市の歴史を知り、長岡市の発展につながると思います。」は、本計画の文章として必要かどうか。（もし参考文献から意図せず入った等なら削除されたい。）	41	ご意見のとおり該当部分を削除しました。	41ページ 3-5長岡市ゆかりの人物
24	p.43 表、「県登録」と「市登録」の文字の幅が詰めてあるが、詰めなくてよいのではないか。	43	ご意見のとおり修正しました。	43ページ 表2-1
25	p.44 次のように整理が必要ではないか。「中世から近世は、美術工芸品が中心で、彫刻・工芸品からは当時の芸術文化を、典籍・古文書・歴史資料からは史実や当時の人々の生活などを知ることができます。」	44	ご意見のとおり修正しました。 「中世から近世は、美術工芸品が中心で、彫刻・工芸品からは当時の芸術文化を、典籍・古文書・歴史資料からは史実や当時の人々の生活などを知ることができます。」	44ページ 2) 時代別の状況
26	p.44 「また、近世以降は…」の建造物に関する記述は、中世から近世の文脈と異なるため、段落を変えると良いのではないか。	44	ご意見のとおり修正しました。	44ページ 2) 時代別の状況
27	p.44 表 2 - 2 に「無形文化財、無形の民俗文化財、動物・植物・地質鉱物は年代を特定しないものとして、全て「不定」に分類しました。」とあるが、であれば表も、p.43の表にあるような斜線とするのがよいのではないか。ハイフン等でもよい。	44	「第 2 章 1 指定等文化財」の表 2 - 1、2 - 2、2 - 3 では指定等文化財の件数を指定等区分、時代別、地域別に示しております。各表の合計件数を一致させる必要があるため、年代を特定できない文化財についても、件数を記載しました。以上のことから、ご意見いただいた箇所については、計画案のとおりとします。なお、「年代」を「時代」に修正しました。	44ページ 2) 時代別の状況
28	p.45 「各地域を特徴づける貴重な存在」とあるが「各地域の特徴を示す貴重な存在」の方が表現として良いのではないか。（文化財が地域の特徴を形作るとも読めるが、因果が逆のため。）	45	ご意見のとおり修正しました。	45ページ 3) 地域別の状況
29	p.47 蒼紫神社本殿・拝殿には他のご祭神も祀られていたように思うので、そうであれば文言に修正が必要ではないか。（「を主祭神とする」など？ 主祭神の語はp.69にもある。）	47	ご意見のとおり修正しました。 「…長岡藩 3 代藩主牧野忠辰を主祭神とする天明元…」	47ページ 【社寺】
30	p.47 「北越戊辰戦争の痕跡『を』、…見ることができます」ではないか。	47	ご意見のとおり修正しました。	47ページ 【建造物】

No.	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号・修正箇所)
31	p.48-49 両ページにまたがる段落のみ、「(市指定)」のカッコが半角になっている(2組)。	48-49	ご意見のとおり修正しました。	48ページ 【 絵画 】
32	p.53 「東北日本の積雪期用具 附 改良形用具」は文中とキャプションで2つ目のスペースの有無が違うが、誤植であれば修正されたい。	53	ご意見のとおり、キャプションのスペースを取りました、	53ページ 写真キャプション
33	p.57 未調査である絵画・彫刻は、斜線やハイフンとした方がよいのではないかと。他の表でも、0と斜線の区別を見直した方がよい。	57	ご意見のとおり、絵画・彫刻は「ー」ハイフンに修正しました。また、他の表(表2-1)の斜線は下段の※に補足文を入れてあるため、計画案のとおりとします。	57ページ 表2-5
34	p.59 「古文書」と「考古資料」の間にも空行が必要ではないか。	59	ご意見のとおり修正しました。	59ページ 【 古文書 】
35	p.60 「4) 記念物」の前にも空行が必要ではないか。こうした空行は、特に文言修正によりページまたぎが変わった影響として出やすいので、もし余裕があれば最後にもう一度見直されたい。	60	ご意見のとおり修正しました。	60ページ 4) 記念物
36	p.61 「2024年7月現在」に和暦は必要ないか	61	ご意見のとおり和暦を表示し、以下のとおり修正しました。 「令和6(2024)年7月現在、本市には以下の2つの日本遺産のストーリーがあります。」	61ページ 3-1 日本遺産
37	p.62 「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」と、副題の前に空白が必要ではないか。	62	ご意見のとおり修正しました。	62ページ
38	p.63 「長岡市景観アクションプラン(令和4年3月)…1件が指定されています。」の、「4」と「1」が他と違い半角ではないか。	63	ご意見のとおり修正しました。	63ページ 3-3 長岡市景観重要建造物
39	p.65 「歴史文化の特性の整理にあたっては…」の文頭が1字下がっていない。(表との兼ね合いなど意図したものであれば問題ありません。)	65	ご意見のとおり文頭を1字下げました。	65ページ
40	p.65- 第3章の中で、「慶応4年(1868)」表記と「昭和20(1945)年」表記が統一されていないので、適宜修正されたい。またもし余裕があれば文章全体も見直されたい。	65	ご意見のとおり、計画全体について表記を統一しました。	全体
41	p.69 「栃尾城は市街地を一望できる鶴城山に築かれた戦国時代の典型的な山城で、」とあるが、「長岡市街地」とした方が分かりよいのではないかと。	69	「市街地」だけではどの市街地が分かりにくいので、「栃尾の市街地」に修正しました。	69ページ 【 戦乱期における上杉氏・直江氏ゆかりの地 】
42	p.70 「新潟県立工業学校『(現新潟県立長岡工業高等学校)』」「長岡高等工業学校『(現新潟大学工学部)』」とした方が分かりやすいのではないかと。(ただしページに収まらなくなるかと思うので、提案まで。)	70	文字数が超過するため、計画(案)のとおりとします。	-
43	p.71 「7.13水害」の「7」は半角でよいのではないかと。	71	ご意見のとおり修正しました。	71ページ 【 水害の教訓 】
44	p.71 長岡空襲と長岡花火の項の始まりが唐突なので、「『太平洋戦争下の』昭和20(1945)年7月20日…」と始めてはどうか。	71	ご意見のとおり修正しました	71ページ 【 長岡空襲と長岡花火 】

No.	意見の概要	計画案 ページ	長岡市の考え	計画への反映箇所 (ページ番号・修正箇所)
45	p.71 「8月1日22時30分、アメリカ軍は…大量の焼夷弾を投下」とあるが、空襲は1時間40分にわたっており、「22時30分『より』」などとするのが正しい。表現を検討されたい。	71	いただいたご意見を参考に以下のとおり修正しました。 「太平洋戦争下の昭和20（1945）年7月20日、米軍のB29爆撃機が信濃川右岸の左近地内に1発の爆弾を投下し、4人が命を落としました。この爆弾投下は、新潟市への原子爆弾投下訓練であったことが判明しています。また、8月1日には午後10時30分から1時間40分にわたり、長岡市街地に焼夷弾が投下されました。この空襲により市街地の約8割が焼失、11,986戸が罹災し、これまでに判明している犠牲者数は1,489人に上ります。長岡市街は一夜にして焼失しました。」	71ページ 【長岡空襲と長岡花火】
46	p.71 「新潟県中越地方（川口町）を震源とする」とあるが、『川口地域』や『旧川口町』とすべきではないか。あるいはその後に「震央の川口地域」とあるため、「新潟県中越地方を震源とする」としてもよいのではないか。	71	いただいたご意見や長岡市平成27年発行『新潟県中越地震復興10年記録集』を参考に以下のとおり修正しました。 「平成16（2004）年10月23日17時56分、北魚沼郡川口町（現長岡市川口地域）を震央とするマグニチュード6.8、最大震度7の巨大な地震が発生しました。」	71ページ 【地震の記憶と記録】
47	p.72 「把握調査の進捗状況を〔表4-1〕に…」の行頭と「把握調査の進捗状況を概観すると…」の行頭があっていないため、段落設定を確認されたい。	72	いただいたご意見を参考に以下のとおり修正しました。 「把握調査の進捗状況を〔表4-1〕に整理しました。把握調査の進捗状況を概観すると、…」	72ページ 1-1 把握調査の進捗状況
48	p.72 「概観すると…考え『られ』ます」がよいのではないか。	72	ご意見のとおり修正しました。	72ページ 【1-1 把握調査の進捗状況
49	p.74 「変わるれ！長岡 住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち ～イノベーション先進都市～」は、総合計画案（意見反映版）の方で「変わるれ！長岡 住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち ～イノベーション先進都市～」のように半角/全角スペースの入りが変わっているため、再度確認されたい。	74	ご意見のとおり修正しました。	74ページ まちの将来像
50	今回の計画に必ずしも含めて頂きたいわけではないが、各地域や各町（栖吉、川崎、四郎丸…のようは）には神社や寺等のいわれや、町ごとの歴史（どこにどんな店がありどんな雰囲気だった、いつ道が開通してどうなった等）、町ごとの習俗、食文化や郷土料理のレシピの派生系があると感じている。そうしたことも広く「その他の文化財」にいずれ含めるべき。 また、自然堤防の上にてきた川崎や亀貝…といった集落のかたちや古い大きい民家、石垣なども保存してほしい。	-	いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	-